

先行工事可能! 安心簡単で確実な施工が行えます。

中空壁のスイッチ・コンセントボックス用防火措置キット

フチワダンパー®

国土交通大臣認定 (1～3個用浅型ボックス) PS060WL-0593* (PD-44) **NEW**
 (4～5個用深型ボックス) PS060WL-0506 (PD-54)

*PS060WL-0498を含みます。

特許第4927797号

本体金具

PD-44

熱膨張性耐火材

PD-54

熱膨張性耐火材

●鋼製ボックスの外側施工。配線作業を妨げません。
 ●事前の施工も可能。
 ●鋼製ボックス取り付け時に防火措置も完了。

**1～3個用浅型ボックス
 対応品番
 PD-44がパワーアップ!**

NEW
ケーブル単体配線可能!*
 (PD-44のみ)

樹脂スリーブ

PD-44、54共通

熱膨張性耐火材

樹脂スリーブ

●誰でも確実な施工が可能。
 ●仕上がり良好、メンテもらくらく。

PD-44は角穴対応!

**矩形開口 (50mm×50mm) および
 丸穴開口 (φ50mm) どちらにも対応!**

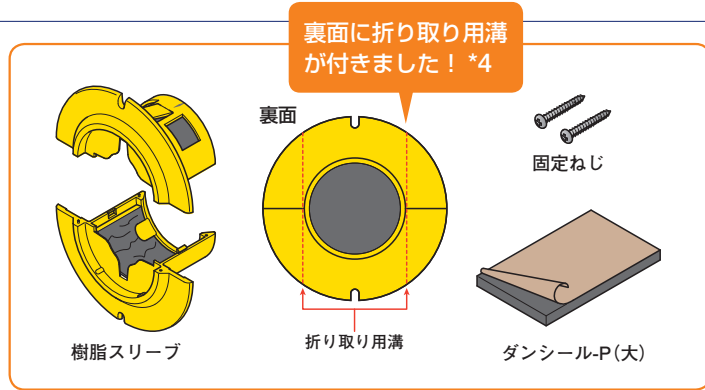
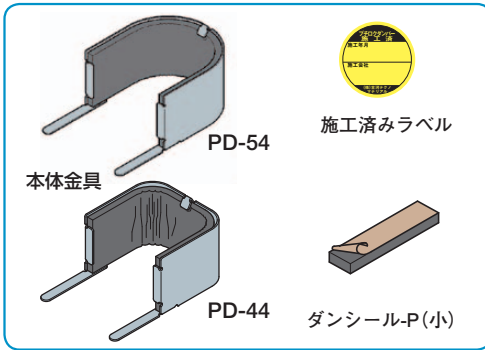
(PD-44・54対応)

NEW (PD-44対応)

天井際での施工も可能になります。*
 (PD-44のみ)

*PD-44のみです。また、標準施工と異なりますので、所轄の行政機関へのご確認をお願い致します。

梱包内容



品番	構成材料 (1組分)						取扱説明書 (枚)	梱包数 (組/箱)
	本体金具 (個)	ダンシール-P (小) ^{*1} (枚)	施工済みラベル ^{*2} (枚)	樹脂スリーブ ^{*3} (個)	ダンシール-P (大) (枚)	固定ねじ (本)		
PD-44	1	1	1	2	1	2	1	10
PD-54	1	1	1	2	1	2	1	5

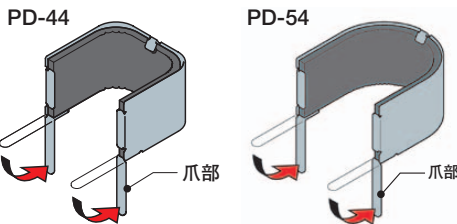
- *1 鋼製ボックスの背面ねじ貫通穴ふさぎ等に使用します。万一不足した場合は別途お買い求めください。
- *2 鋼製ボックス1個につき1枚を使用します。
- *3 樹脂スリーブは2個を組み合わせて1組となります。
- *4 折り取り用溝は、天井際施工等の際に折り取ることが可能です。(施工に際しては所轄の行政機関にご確認をお願い致します。)

施工手順 施工前に認定条件をご確認ください。

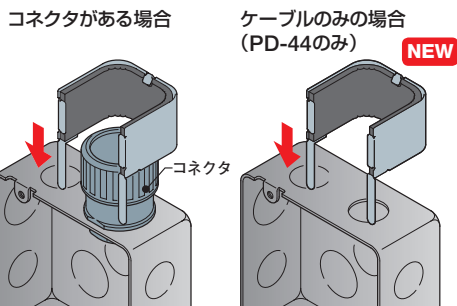
スイッチ・コンセントボックス部

PD-44用とPD-54用本体金具の形状は若干異なりますが、施工手順は同じです。(ケーブルのみの施工はPD-44のみです。)

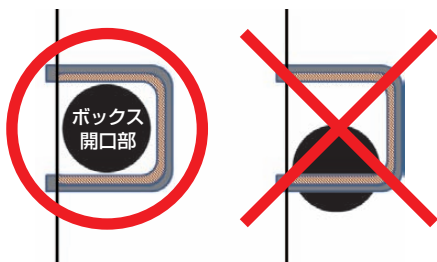
1 本体金具の爪を折り曲げます。



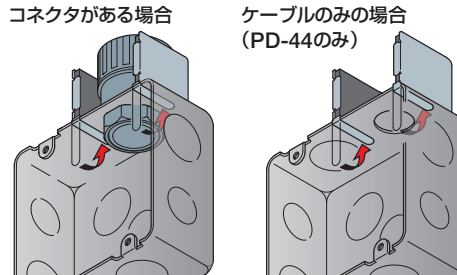
2 鋼製ボックスに本体金具を取り付けます。



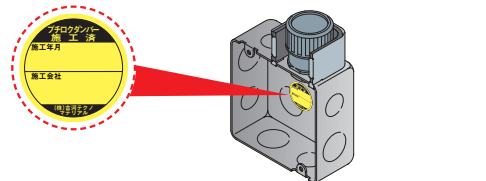
ケーブルのみの場合 (コネクタがない場合) は、上から見てボックスの開口部が本体金具内部に収まるように取り付けてください。



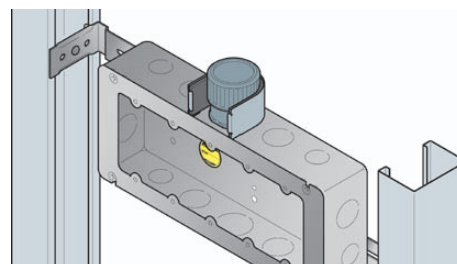
3 爪を内側に折り込みます。



4 施工済みラベルを貼付します。

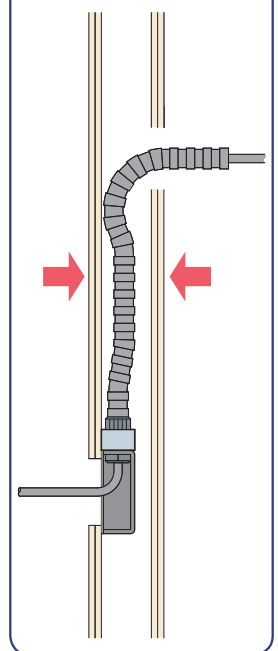


5 間柱に取り付けられたボックスに本体金具が取り付けられた状態でボックス部の防火措置は完了です。



- ※鋼製ボックス背面のねじ貫通孔は付属のダンシール-P (小) または不燃材料で塞いでください。
- ※ケーブルのみの貫通の場合で、ボックス開口部とケーブルの隙間が大き場合は付属のダンシール-P (小) で塞いでください。
- ※本体金具のボックスへの取り付けは、ボックスを間柱へ取り付ける前後、どちらのタイミングでも可能です。

中空壁ボード張り付け



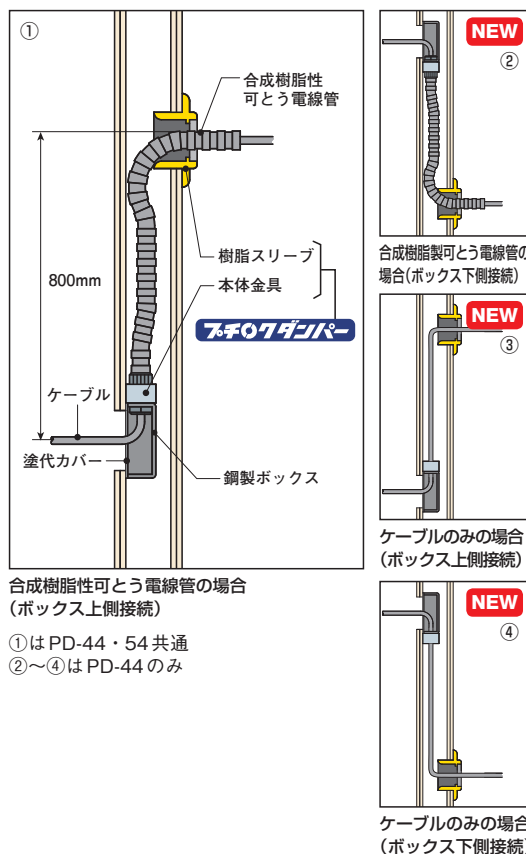
- 中空間仕切壁にボックス開口部を設ける場合は、その開口サイズによってボックスを断熱材などで被覆するなどの措置が必要な場合があります。施工前には必ず所轄行政機関への確認をお願い致します。
- 施工する耐火壁に欠いて、固有の認定条件にてボックス部の被覆などの方法が定められている場合は、その方法に従ってください。
- 住居または共有部分の境壁に使用する場合は消防庁が定める施工の基準に従ってください。

認定条件

品番		PD-44 (1～3個用浅型ボックス)	PD-54 (4～5個用深型ボックス)
国土交通大臣認定		PS060WL-0593 (PS060WL-0498)	PS060WL-0506
壁	構造	①両面強化せっこうボード重張間仕切壁(準耐火構造) ②国土交通大臣が認定した認定した耐火壁 (①②共に木製下地は除く)	
	厚さ	100mm以上	115mm以上
開口寸法	ボックス部	146mm×92mm以下	238mm×92mm以下
	合成樹脂製可とう電線管出口部	矩形(50mm×50mm)×3開口以下 または 円形(φ50mm)×3開口以下	円形(φ50mm)×5開口以下
合成樹脂製可とう電線管 (JIS C 8411)		PF管・CD管 呼び22以下	PF管・CD管 呼び28以下
ケーブル	導体断面積 (1本あたり)	8mm ² 以下	22mm ² 以下
ケーブル占積率		(合成樹脂製可とう電線管): 合成樹脂製可とう電線管の 内断面積に対して72.7%以下 (ケーブルのみ): ボックス貫通孔の面積に対して 82.8%以下	(合成樹脂製可とう電線管): 合成樹脂製可とう電線管の内 断面積に対して73.0%以下

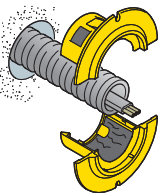
本製品は上記の「認定条件」および「認定取得図」に従って施工してください。
認定内容の詳細に関しては国土交通大臣認定書をご確認ください。
また、上記と異なる形態の場合は所轄の行政機関へご相談ください。

認定取得図 (詳細は国土交通大臣認定書をご確認ください)

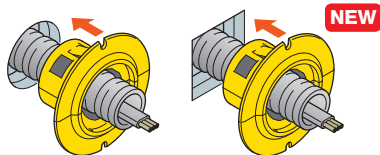


ケーブル(PD-44のみ)および合成樹脂製可とう電線管出口部

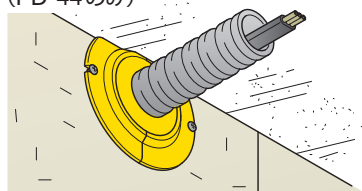
1 樹脂スリーブでケーブルまたは合成樹脂製可とう電線管を挟み込みます。



2 開口部に挿入します。



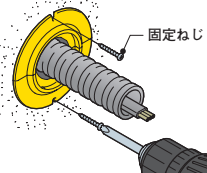
角穴の場合は、円筒部の爪が壁と並行になるように取付けてください。(PD-44のみ)



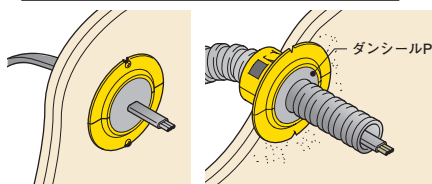
開口部が天井際の場合は、フランジ部分を折り取ることで施工が可能です(PD-44のみ)*。

*標準施工と異なりますので、所轄の行政機関へのご確認をお願い致します

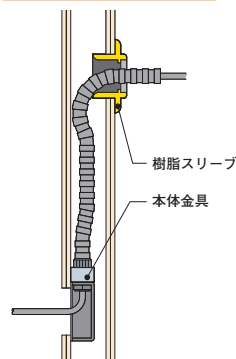
3 必要な場合は、付属のねじで固定してください。



4 パテ充填部にダンシール-Pを詰めて施工完了です。

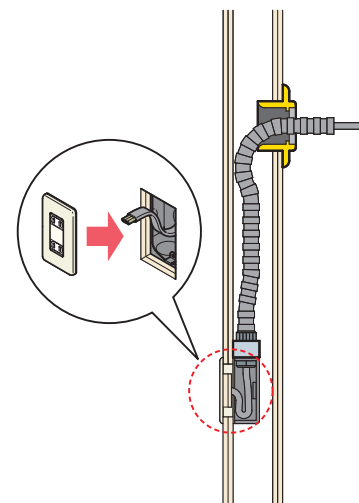


防火措置完了



本製品は、上記の「認定条件」および「認定取得図」に対して防火措置認定を取得しています。実際の現場で配線形態が異なる場合には、防火措置が必要な部位であるかなどを含め、対応方法などについて所轄の行政機関にご確認していただく必要があります。弊社では、コンセントなどが取り付けられた状態において次頁の各条件で公的試験機関での耐火試験を実施し、性能を確認しています(注：認定ではありません)。行政機関へのご相談などに際し資料などをご要望のお客様は、弊社へお問い合わせください。

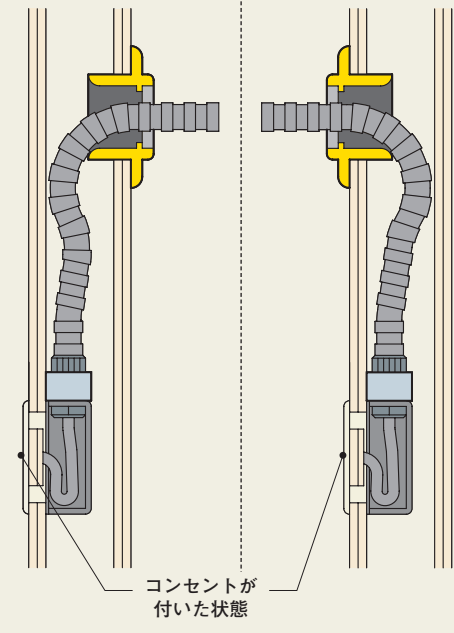
電気工事完了



形態の異なる配線工事について

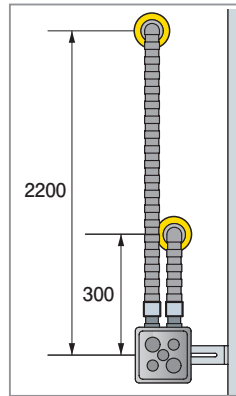
合成樹脂製可とう電線管
出口がボックス開口部と
反対の壁にある場合

合成樹脂製可とう電線管
出口がボックス開口部と
同じ壁にある場合

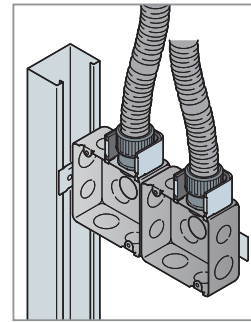


← 左図の状態 + 下図のそれぞれの条件で、耐火性能を確認しています

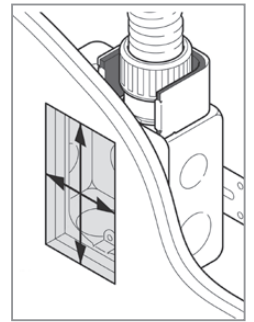
行政機関への相談などに際し、資料などをご希望のお客様は、弊社までご請求ください。



電線管の長さが
300 ~ 2200mmの場合



ボックス同士が隣接、または
間柱を挟んで設置された
場合



取り付け部の開口面積が
100cm²未満の鋼製ボ
ックスにおいて断熱材などが
無被覆の場合

国土交通大臣認定書・一般技術資料・仕様書・施工要領書は古河テクノマテリアルのホームページからダウンロードが可能です。
(国土交通大臣認定書のダウンロードには登録が必要です。)



PCサイト



古河電気工業株式会社 <http://www.furukawa.co.jp/>

本社	〒100-8322	東京都千代田区丸の内2丁目2番3号(丸の内仲通りビル)	TEL (03) 3286-3327	FAX (03) 3286-3648
関西支社	〒530-0004	大阪市北区堂島浜2丁目1番29号(古河大阪ビル)	TEL (06) 6346-4061	FAX (06) 6346-4127
中部支社	〒461-0005	名古屋市東区東桜1丁目14番25号(テレビアビル)	TEL (052) 972-8120	FAX (052) 972-8153
九州支社	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号(日本生命博多駅前ビル)	TEL (092) 483-5533	FAX (092) 483-5550
中国支社	〒730-0037	広島市中区中町8番18号(広島クリスタルプラザ)	TEL (082) 246-8521	FAX (082) 246-1321
東北支社	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4丁目1番25号(東二番丁スクエア)	TEL (022) 225-4221	FAX (022) 267-2726
北海道支社	〒060-0061	札幌市中央区南一条西2丁目5番地(南一条Kビル)	TEL (011) 251-7163	FAX (011) 231-4720

快適な都市・住宅の環境づくり

古河エレコム株式会社 <http://www.f-elecom.com/>

本社	〒101-0047	東京都千代田区内神田2丁目16番8号(古河電工神田ビル)	TEL (03) 5297-8620	FAX (03) 5297-8605
関西支社	〒530-0004	大阪市北区堂島浜2丁目1番29号(古河大阪ビル)	TEL (06) 6346-4173	FAX (06) 6346-4195
中部支社	〒461-0005	名古屋市東区東桜1丁目14番25号(テレビアビル)	TEL (052) 950-7765	FAX (052) 950-7817
九州支社	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号(日本生命博多駅前ビル)	TEL (092) 483-5561	FAX (092) 483-5559
北海道支店	〒060-0061	札幌市中央区南一条西2丁目5番地(南一条Kビル)	TEL (011) 251-5991	FAX (011) 231-2927
東北支店	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4丁目1番25号(東二番丁スクエア)	TEL (022) 267-0771	FAX (022) 268-7375
長野営業所	〒380-0824	長野市南石堂町1315-4(グランディオーゼナガノ602号)	TEL (026) 223-1873	FAX (03) 5297-8704
北関東支店	〒320-0811	宇都宮市大通り4丁目1番20号(けやき通りビル)	TEL (028) 624-6894	FAX (028) 624-6896
静岡支店	〒410-0882	沼津市町方町80(MKビル103号)	TEL (055) 951-0515	FAX (055) 951-0580
北陸支店	〒930-0858	富山市牛島町18番7号(アーバンプレイスビル)	TEL (076) 431-0863	FAX (076) 431-0023
中国支店	〒730-0037	広島市中区中町8番18号(広島クリスタルプラザ)	TEL (082) 246-0881	FAX (082) 246-8689
沖縄支店	〒900-0015	那覇市久茂地3丁目15番9号(アルテビルディング那覇)	TEL (098) 863-2226	FAX (098) 863-0456

技術事項のご相談・お問い合わせは

株式会社古河テクノマテリアル 防災事業部

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5-1-8

TEL : 0463-24-9341 FAX : 0463-24-9346

URL <http://www.furukawa-ftm.com/bousai/index.htm> Eメール bosai@ftm.fitec.co.jp

・このカタログの内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。

輸出管理規制について

本書に記載されている製品・技術情報は、我が国の「外国為替及び外国貿易法並びにその関連法令」の適用を受ける場合があります。また、米国再輸出規制(EAR:Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本書に記載されている製品・技術情報を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において、必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

このカタログは環境に配慮した用紙、インキにより製作しています。

D-540 2D5 TR 200